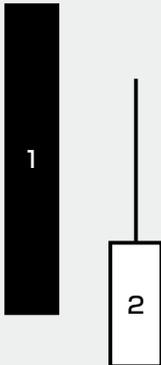


## 24. 差し込み線

「陰線」の翌営業日、下放れで寄り付いてから長い上ヒゲをもつ「陽線」を形成したとき（ただし、終値は前日陰線の振れ幅に収まったとき）のパターンを「差し込み線」と呼びます。

### 差し込み線パターン



#### 【抽出条件】

- ① 1日目の陰線が始値の0.5%よりも長いこと  
（例えば、始値が1000円の場合、実体部分が5円幅よりも長いものを抽出）
- ② 2日目の陽線が始値の0.5%よりも長いこと
- ③ 2日目の上ヒゲが実体よりも長いこと  
（例えば、実体の幅が5円の場合、上ヒゲ部分が5円幅よりも長いものを抽出）
- ④ 2日目の上ヒゲが始値の1%よりも長いこと  
（例えば、始値が1000円の場合、上ヒゲ部分が10円幅よりも長いものを抽出）
- ⑤ 1日目安値 < 2日目高値
- ⑥ 1日目の始値と終値の中心 > 2日目終値

一般の解説書では“大きく下げられた後の反動による上昇が範囲内で留まっているため、前日値に突っ掛けるのが限界”との判断から“戻り売りのポイント”といわれています。

なお、終値が前日始値と前日終値の中心値を超えてくると「切り込み線」と名前が変わります。

### 全期間（1983～2009年）

売却日	取引回数	利益平均 1(%)	利益平均 2(%)	勝ち取引 回数	負け取引 回数	勝率(%)
当日終値	79449	-0.004	-0.050	33706	38102	46.9
1日後	79436	0.211	0.141	36871	36977	49.9
2日後	79398	0.268	0.131	37493	38113	49.6
3日後	79384	0.305	0.101	37905	38431	49.7
4日後	79377	0.366	0.102	38083	38642	49.6
5日後	79359	0.439	0.123	38261	38740	49.7
6日後	79343	0.531	0.159	38340	38886	49.6
10日後	79236	0.471	-0.158	37756	39809	48.7
20日後	79032	0.622	-0.657	37161	40647	47.8
30日後	78641	0.709	-1.242	36664	41054	47.2
40日後	78355	0.722	-1.901	36160	41385	46.6

このパターンがみられた翌営業日の寄り付きで買い、当日終値で売り手仕舞った場合（当日終値の行を参照）、1983～2009年の利益平均は0.050%（利益平均2）の「マイナス」となっています。これは全取引平均値の-0.054%とほとんど変わりません。

したがって、差し込み線パターンがみられた翌営業日にデイトレードをするなら「様子見」と考えられます。

1日後～10日後に売り手仕舞う場合は、全取引平均値よりも高めの利益となっており、20日後～40日後に売り手仕舞う場合は、全取引平均値よりも低めの利益となっています。例えば、2日後で比較すれば、全取引平均値の $-0.033\%$ の下落に対して、差し込み線は $+0.131\%$ となっており、平均よりも $0.164\%$ 有利です。

全期間（1983～2009年）の当日終値、1日後、2日後の全取引平均値は、それぞれ $-0.054\%$ 、 $-0.017\%$ 、 $-0.033\%$ です。一方、差し込み線パターン出現の場合、当日終値、1日後、2日後の利益率は、それぞれ $-0.050\%$ 、 $+0.141\%$ 、 $+0.131\%$ となりました。

- パターンが出現した翌営業日の日中に下落する
- 1日後には利益率がプラスとなっている

このことから、差し込み線パターンが出た場合、翌営業日の終値付近で買うのがよいといえます。一般には“戻り売りのポイント”として知られている差し込み線が、統計分析からは「買い」という結果が出ているわけです。

では6分割した期間で同様に解析してみましょう。特に下降相場での結果に注目です。

## バブル期間（1983～1989年）

売却日	取引回数	利益平均 1(%)	利益平均 2(%)	勝ち取引 回数	負け取引 回数	勝率(%)
当日終値	10027	-0.014	-0.038	3863	4725	45.0
1日後	10027	0.208	0.176	4478	4450	50.2
2日後	10027	0.378	0.315	4659	4626	50.2
3日後	10027	0.458	0.371	4723	4739	49.9
4日後	10027	0.641	0.538	4809	4693	50.6
5日後	10027	0.672	0.549	4787	4770	50.1
6日後	10027	0.792	0.652	4847	4750	50.5
10日後	10027	1.114	0.893	4868	4831	50.2
20日後	10027	2.164	1.773	5189	4589	53.1
30日後	10027	3.098	2.549	5399	4455	54.8
40日後	10027	4.120	3.442	5549	4318	56.2

この期間の当日終値、1日後、2日後の全取引平均値は、それぞれ-0.016%、+0.082%、+0.167%です。

一方、差し込み線パターン出現の場合、当日終値、1日後、2日後の利益率は、それぞれ-0.038%、+0.176%、+0.315%となりました。

当日終値の利益率はマイナスですが、1日後と2日後の利益率はプラスとなっています。全取引平均値と比較すると、当日終値の利益率はより低くなっているのに対して、1日後と2日後の利益率はより高くなっています。

したがって、1日後以降に売るのであれば、この上昇期に出現した差し込み線パターンは「買いサイン」といえます。

## 崩壊期間（1990～1992年）

売却日	取引回数	利益平均 1(%)	利益平均 2(%)	勝ち取引 回数	負け取引 回数	勝率(%)
当日終値	5063	0.200	0.170	2181	2242	49.3
1日後	5063	0.409	0.358	2369	2242	51.4
2日後	5063	0.382	0.285	2392	2357	50.4
3日後	5063	0.396	0.250	2444	2378	50.7
4日後	5063	0.138	-0.086	2336	2534	48.0
5日後	5063	0.552	0.322	2387	2480	49.0
6日後	5063	0.365	0.075	2376	2531	48.4
10日後	5063	-0.247	-0.850	2265	2695	45.7
20日後	5063	-0.562	-1.673	2154	2813	43.4
30日後	5063	-1.059	-2.593	2094	2897	42.0
40日後	5063	-2.394	-4.542	1971	3023	39.5

この期間の当日終値、1日後、2日後の全取引平均値は、それぞれ-0.079%、-0.121%、-0.242%です。

一方、差し込み線パターン出現の場合、当日終値、1日後、2日後の利益率は、それぞれ+0.170%、+0.358%、+0.285%となりました。

当日終値、1日後、2日後の利益率はすべてプラスです。また全取引平均値と比較すると、そのすべてで利益率がより高くなっています。

したがって、この下落期に出現した差し込み線パターンも「買いサイン」だったといえます。

## もみ合い期間（1993～1999年）

売却日	取引回数	利益平均 1(%)	利益平均 2(%)	勝ち取引 回数	負け取引 回数	勝率(%)
当日終値	12398	0.003	-0.038	5039	5876	46.2
1日後	12398	0.237	0.180	5594	5747	49.3
2日後	12398	0.362	0.255	5789	5917	49.5
3日後	12398	0.420	0.253	5845	5977	49.4
4日後	12398	0.443	0.237	5849	6064	49.1
5日後	12398	0.504	0.254	5891	6033	49.4
6日後	12398	0.566	0.273	5889	6115	49.1
10日後	12398	0.516	0.029	5759	6311	47.7
20日後	12398	1.061	0.063	5776	6398	47.4
30日後	12398	1.307	-0.228	5699	6548	46.5
40日後	12398	1.674	-0.373	5701	6556	46.5

この期間の当日終値、1日後、2日後の全取引平均値は、それぞれ-0.094%、-0.036%、-0.071%です。

一方、差し込み線パターン出現の場合、当日終値、1日後、2日後の利益率は、それぞれ-0.038%、+0.180%、+0.255%となります。

当日終値の利益率はマイナス、1日後と2日後の利益率はプラスです。全取引平均値と比較すると、そのすべてで利益率がより高くなっています。

したがって、このもみ合い期に出現した差し込み線パターンも「買いサイン」だったといえます。

### 暴落期間（2000～2002年）

売却日	取引回数	利益平均 1(%)	利益平均 2(%)	勝ち取引 回数	負け取引 回数	勝率(%)
当日終値	10511	0.001	-0.051	4442	4957	47.3
1日後	10511	0.165	0.090	4823	4859	49.8
2日後	10511	0.375	0.240	5049	4931	50.6
3日後	10511	0.389	0.187	5039	4999	50.2
4日後	10511	0.319	0.055	4929	5192	48.7
5日後	10511	0.306	-0.011	4974	5201	48.9
6日後	10511	0.351	-0.029	4969	5226	48.7
10日後	10511	0.220	-0.401	4860	5410	47.3
20日後	10511	-0.231	-1.464	4649	5697	44.9
30日後	10511	-0.335	-2.162	4553	5815	43.9
40日後	10511	-0.863	-3.388	4483	5914	43.1

この期間の当日終値、1日後、2日後の全取引平均値は、それぞれ-0.074%、-0.067%、-0.130%です。

一方、差し込み線パターン出現の場合、当日終値、1日後、2日後の利益率は、それぞれ-0.051%、+0.090%、+0.240%となります。

当日終値の利益率はマイナス、1日後と2日後の利益率はプラスです。全取引平均値と比較すると、そのすべてで利益率がより高くなっています。

1日後と2日後の利益率がプラスであるため、この暴落期間に出現した差し込み線パターンも「買いサイン」だったといえます。

## 暴騰期間（2003～2006年）

売却日	取引回数	利益平均 1(%)	利益平均 2(%)	勝ち取引 回数	負け取引 回数	勝率(%)
当日終値	19878	0.013	-0.033	8716	9666	47.4
1日後	19878	0.168	0.096	9535	9216	50.9
2日後	19878	0.227	0.091	9576	9523	50.1
3日後	19878	0.411	0.211	9941	9306	51.6
4日後	19878	0.479	0.208	9984	9348	51.6
5日後	19878	0.723	0.423	10153	9279	52.2
6日後	19878	0.860	0.513	10257	9181	52.8
10日後	19878	1.207	0.676	10423	9081	53.4
20日後	19878	1.858	0.909	10262	9374	52.3
30日後	19878	2.540	1.195	10367	9308	52.7
40日後	19878	3.296	1.667	10400	9301	52.8

この期間の当日終値、1日後、2日後の全取引平均値は、それぞれ-0.025%、+0.064%、+0.132%です。

一方、差し込み線パターン出現の場合、当日終値、1日後、2日後の利益率は、それぞれ-0.033%、+0.096%、+0.091%となります。

当日終値の利益率はマイナス、1日後と2日後の利益率はプラスです。全取引平均値と比較すると、当日終値の利益率はより低く、1日後の利益率はより高く、2日後の利益率はより低くなっています。

1日後と2日後の利益率はプラスであるため、この上昇期に出現した差し込み線パターンも「買いサイン」だったといえます。

## 金融危機期間（2007～2009年）

売却日	取引回数	利益平均 1(%)	利益平均 2(%)	勝ち取引 回数	負け取引 回数	勝率(%)
当日終値	21541	-0.072	-0.131	9447	10628	47.1
1日後	21528	0.212	0.118	10053	10455	49.0
2日後	21490	0.119	-0.080	10007	10750	48.2
3日後	21476	0.007	-0.292	9900	11016	47.3
4日後	21469	0.165	-0.210	10162	10795	48.5
5日後	21451	0.066	-0.413	10051	10964	47.8
6日後	21435	0.210	-0.354	9984	11070	47.4
10日後	21328	-0.254	-1.259	9561	11470	45.5
20日後	21124	-0.823	-3.064	9114	11764	43.7
30日後	20733	-1.594	-5.218	8536	12017	41.5
40日後	20447	-2.434	-7.497	8042	12259	39.6

この期間の当日終値、1日後、2日後の全取引平均値は、それぞれ-0.051%、-0.106%、-0.214%です。

一方、差し込み線パターン出現の場合、当日終値、1日後、2日後の利益率は、それぞれ-0.131%、+0.118%、-0.080%となります。

当日終値の利益率はマイナス、1日後の利益率はプラス、2日後の利益率はマイナスです。全取引平均値と比較すると、当日終値の利益率はより低く、1日後と2日後の利益率はより高くなっています。

1日後の利益率はマイナス、2日後の利益率はプラスと、プラスとマイナスが混在するため、この下落期に出現した差し込み線パターンは「様子見」とするのがよいでしょう。

---

## まとめ

6 期間中 5 期間で買いサイン、1 期間で様子見でした。ただし、様子見となった金融危機期間（2007～2009年）も、全取引平均値と比較すると 1 日後と 2 日後の利益率が高くなっており、他期間との傾向の変化も小さいため、差し込み線パターンが買いサインとなる可能性は続くと考えられます。

差し込み線は戻り売りのポイントとして知られているローソク足パターンです。しかし、統計分析では逆の「買い」という結果が出ました。